

機関番号：32636

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2008～2010

課題番号：20520180

研究課題名(和文) 大安寺文化圏の研究 鑑真伝を軸とする知的体系の継承と人的ネットワーク

研究課題名(英文) The Cultural Sphere of Daian Monastery-Intellectual Inheritance and Personal Networks Centred on Jianzhen's Biographies

研究代表者

藏中 しのぶ (KURANAKA SHINOBU)

大東文化大学・外国語学部・教授

研究者番号：40215041

研究成果の概要(和文): 平城京の大安寺文化圏は、唐の長安西明寺の玄奘・道宣・道世等の学問と文学を受け継ぎ、唐僧・思託による鑑真伝三部作を軸に、今日の考証学の源流となる律令学・仏教学・文学諸学の学問の基盤を築いた。その出典体系は、最澄・善議を経て、平安朝以降の古注釈・古辞書・説話集に継承される。在俗仏教徒・文人でもあった律令官人と寺院のネットワークがこれを担い、仏伝の世界観と仏教東流の歴史観を構築して律令国家体制を支えたのである。

研究成果の概要(英文): Scholarship and literature of the Daian Monastery cultural area in Nara inherit those elaborated by Tang period Chinese monks such as Xuanzang (Jp. Sanz , 602-664), Daoxuan (D sen, 596-667), Daoshi (Jp. D se, ?-683) from Ximing Monastery in Chang'an. They develop along the three biographies of Jianzhen (Jp. Ganjin, 687-763) thanks to the Chinese monk Situo (Jp. Shitaku, 749-806), and passing through Saich (767-822) and Zengi (729-812) in Heian period, they are inherited systematically in lexicography and tale anthologies, ranging from jurisprudence, to buddhism and to literature. This happens thanks to buddhist monasteries and to a network of officials consisting of lay buddhists and literati. The Daian Monastery cultural area, out of phase with *Man'yōshū* (Collection of Ten Thousand Ages, late 8th cen.) and *Nihon ryōiki* (Account of Japanese Supernatural and Strange Stories, 810-824 ca.), was supported by the system of centralized state established under the *ritsuryō* legal codes and by the organized buddhism.

交付決定額

(金額単位:円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	800,000	240,000	1,040,000
2009年度	900,000	270,000	1,170,000
2010年度	1,100,000	330,000	1,430,000
年度			
年度			
総計	2,800,000	840,000	3,640,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：文化圏・ネットワーク・類書・出典・伝・鑑真・思託・道宣・大唐伝戒師僧名記大和上鑑真伝・唐大和上東征伝・延暦僧録

1. 研究開始当初の背景

(1) 上代の仏教的な漢詩文の出典が、長安西明寺関連文献に大きく偏っているのはなぜ

か。これを「大安寺文化圏」=長安西明寺の知的体系を受け継ぐ平城京諸寺院間の人的ネットワークとして捉え、その実態を解明す

る。

(2) 長安西明寺の学僧の著作は「抄出」「類聚」「編纂」された「類聚編纂書」群である。これ自体が唐代の学問のスタイルであり、大安寺文化圏はこれを継承するのではないか。
(3) 出典論として従来の語彙出典論・漢語和語の関係論を越えて、文学の「場」と「出典テキスト群」、その背後状況の解明を行う。

2. 研究の目的

鑑真の弟子、唐僧思託撰の鑑真伝『大唐伝戒師僧名記大和上鑑真伝』、『延暦僧録』の实地踏査と本文研究を軸に、『唐大和上東征伝』を含む鑑真伝三部作と大安寺文化圏の構造を解明し、長安西明寺の学問と文学の平城京への影響の具体相をあきらかにする。
『唐大和上東征伝』のイタリア語訳・スウェーデン語訳を刊行する。

3. 研究の方法

(1) 基礎研究。思託撰の「集成僧伝」『広伝』と『延暦僧録』の本文研究。『唐大和上東征伝』イタリア語・スウェーデン語訳。
(2) 「類聚編纂書」の研究。『広伝』と『延暦僧録』出典研究。「大安寺文化圏」における長安西明寺の類聚編纂書群の「抄出」と新たな「類聚編纂」の文学営為の具体相をさぐる。
(3) 「集成僧伝」の研究。文学の「場」の問題として、『広伝』と『延暦僧録』立伝者を中心に、平城京の諸寺院間と律令官人のネットワークを分析し、鑑真伝を軸とする大安寺文化圏の文学活動の様相を明らかにする。

4. 研究成果

鑑真伝を軸とする遺跡踏査・本文研究・注釈研究・ネットワーク分析の結果、次の成果をえた。

(1) 平城京の大安寺文化圏は、唐の長安西明寺の玄奘・道宣・道世等の学問と文学を受け継ぎ、唐僧・思託による鑑真伝三部作を軸に、律令学・仏教学・文学の諸分野にわたって展開する。さらに最澄・善議を経て、平安朝以降の古辞書・説話集に体系的に継承された。
(2) その担い手は在家仏教徒・文人でもあった律令官人と寺院のネットワークであり、分析の結果、天皇家・藤原氏寄りの人脈と、律令学専修の律令官人が浮上し、さらに、『和名類聚抄』引用書目に『法苑珠林』が活用されていることが判明した(尹仙花「『和名類聚抄』引用書目の研究『法苑珠林』を中心に」大東文化大学博士学位論文)。
(3) シンポジウム「上代における『文化圏』とは何か」を開催、文学研究における「文化圏」の概念を学際的に議論し共通認識をえた。
(4) 鑑真伝は『万葉集』『日本霊異記』とは位相を異にして、律令国家と体制的な仏教に支えられ、天皇・律令官人の伝を在俗仏教徒の

伝として描きだし、仏伝の構造を受け継ぐ世界観と仏教東流の歴史観を築きあげていた。
(5) 今日の考証学の学問の源流は、大安寺文化圏の学問と文学に溯ることが確認された。
(6) 『唐大和上東征伝』のイタリア語訳・スウェーデン語訳を完成し、刊行準備中である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計13件)

藏中しのぶ、書評・『聖武天皇宸翰『雑集』「鏡中釈靈実集」研究』、『和漢比較文学』、査読有、46、2011、pp102-112

藏中しのぶ、従玄奘伝到鑑真伝 長安西明寺と大安寺文化圏、揚州大学学报、査読有、第14巻第2号、2010、pp.87-92

藏中しのぶ他7名、『大安寺碑文』注釈、『水門 言葉と歴史』、査読有、22、2010、pp.67-114

藏中しのぶ、大安寺をめぐる出典テキスト群と蔵書ネットワーク 長安西明寺の類聚編纂書群受容の手法と継承、『国語と国文学』東京大学国語国文学会、査読有、1044、2010、pp155-165

藏中しのぶ、スダツタ長者の面影 『藤氏家伝』から『延暦僧録』『居士伝』へ、『藤氏家伝を読む』吉川弘文館、査読無、2010、pp139-152

藏中しのぶ、鑑真と六祖慧能、『華南日本研究』中山大学華南日本研究所、査読有、第三輯、2010、pp.115-120

藏中しのぶ、日本・奈良時代における個人の伝の成立 鑑真伝『大唐伝戒師僧名記大和上鑑真伝』から『延暦僧録』へ、東アジア三大学国際シンポジウム報告書(大東文化大学・山東大学・成均館大学)、査読無、1号、2009、pp.22-30

藏中しのぶ、三つの道璿伝、東洋研究、査読有、173号、2009、pp.1-19

藏中しのぶ他5名、『南天竺婆羅門僧正碑』注釈、『水門 言葉と歴史』、査読有、21、2009、pp277-71

藏中しのぶ、『延暦僧録』と大安寺文化圏「天皇菩薩伝」「居士伝」と平城京の蔵書ネットワーク、上代文学、査読有、103号、2009、pp.28-41

藏中しのぶ、『茶譜』の出典体系 千利休流・小堀遠州流・古田織部流・金森宗和流、茶譜巻一注釈、査読無、巻一、2009、pp.199-202

藏中しのぶ、鑑真和上の肖像 キャラクター形成と伝記叙述、アジア遊学、査読有、118号、2009、pp.36-41

藏中しのぶ、三つの鑑真伝 玄奘伝から鑑真伝へ、東洋研究、査読有、171号、2009、

〔学会発表〕(計 22 件)

藏中しのぶ、ローリ・ミークス、マリア・キアラ・ミリオール、米山孝子、ケビン・ウイルソン、"Proselytizing Monks", The transformation of the biography on Ganjin 中国高僧伝・鑑真伝は、行基伝を再生産する、Association for Asian Studies 2010 Annual Meeting (アジア研究学会) ハワイ大会、2011 年 3 月 31 日、ハワイ・コンベンション・センター

藏中しのぶ、祇園精舎のトランス・カルチャー 兜率天の宮～中天竺・祇園精舎～唐・長安西明寺～平城京・大安寺、ヨーデボリ大学交流シンポジウム (招待研究発表)、2011 年 2 月 26 日、国際日本文化研究センター

藏中しのぶ、シャルロツテ・フォン・ヴェアシュア、マリア・キアラ・ミリオール、邱雅芬、李俄憲、道慈律師と大安寺文化圏、仏教文化の源流・大安寺国際シンポジウム (招待講演)、2010 年 11 月 7 日、奈良県立図書情報館

藏中しのぶ、大安寺文化圏の歴史叙述 『大安寺碑文』 『南天竺婆羅門僧正碑』 の手法と構想、東アジア比較文化国際会議 2010 年日本大会、2010 年 10 月 23 日、橿原観光ホテル

藏中しのぶ、大安寺文化圏とネットワーク分析、京都プロジェクト (招待研究発表)、2010 年 10 月 16 日、国際日本文化研究センター

藏中しのぶ、佐藤宗諱、狩野久、近藤信義、増尾伸一郎、瀬間正之、池田三枝子、森洋久、大安寺文化圏から文学史の再構築へ、大東文化大学大学院日本言語文化専攻主催シンポジウム「上代における文化圏とはなにか」、2010 年 10 月 3 日、大東文化会館

藏中しのぶ、『延暦僧録』の「天皇菩薩伝」と「居士伝」 在俗仏教徒の仏教、和漢比較文学会台湾例会 第 3 回 特別研究発表会、2010 年 9 月 3 日、台湾大学

藏中しのぶ、輪廻転生の論理 『延暦僧録』と『日本霊異記』の天皇観 Logic of transmigration. A Tenno's View between Enryak soroku and Nihon ryoiki、ヨーデボレ大学国際ワークショップ Cultural Translations (招待研究発表)、2010 年 8 月 27 日、スウェーデン・ヨーデボレ大学

藏中しのぶ、井上靖の歴史小説の手法と構想 『天平の薨』と出典『唐大和上東征伝』の比較文学的研究 Method and conception of Inoue Yasushi's Historical Novels A comparative study of Tenpyo no Iraka and It's Source

Todaiwajo Toseiden、NAJAKS session 6、2010 年 8 月 20 日、NAJAKS ノルウェー・ヘルシンキ大学

藏中しのぶ、上野五月研究奨励金授賞式スピーチ、2010 年 6 月 4 日、学士会館

藏中しのぶ、鑑真と六祖慧能、中山大学客座教授授与式講演 (招待講演)、2010 年 5 月 7 日、中山大学

藏中しのぶ、七代記の成立と鑑真一行、日本書紀研究会、2009 年 12 月 25 日、成城大学

藏中しのぶ、七代記と慧思禪師託生説、説話研究会、2009 年 11 月 26 日、筑波大学

藏中しのぶ、日本・奈良時代における個人の伝の成立 鑑真伝『大唐伝戒師僧名記大和上鑑真伝』から『唐大和上東征伝』へ、東アジア三大学国際シンポジウム (大東文化大学・山東大学・成均館大学)、2009 年 9 月 15 日、韓国・成均館大学

藏中しのぶ、大安寺文化圏とは何か、宗教史懇話会サマーセミナー、2009 年 8 月 28 日、休暇村近江八幡・西館

藏中しのぶ、『延暦僧録』と大安寺文化圏、上代文学会・古事記学会合同大会、2009 年 5 月 23 日、國學院大學

藏中しのぶ、広州における鑑真和上、中山大学国際学術講演会 (招待講演)、2009 年 5 月 8 日、中山大学

藏中しのぶ、Ninsho's Toseiden'e and Jianzhen's Legacy in Medieval Ritsu(Vinaya) Communitis (中世律宗における忍性の『東征伝絵』と鑑真の伝記)、Association for Asian Studies 2009 Annual Meeting (アジア研究学会)、2009 年 3 月 29 日、アメリカ・シカゴ・シェラトンホテル

藏中しのぶ、大安寺文化圏と鑑真伝 文学研究・出典論の立場からのアプローチ、入唐求法巡礼行記研究会、2009 年 2 月 25 日、國學院大學

藏中しのぶ、鑑真伝と奈良朝漢詩文 唐からもたらされた高僧伝の「類聚編纂」と編纂態度、大東文化大学・東北師範大学共催、日本学術振興会後援・国際シンポジウム「日本と中国の明日への懸け橋 - 言語・文化・社会、日中比較を基軸として -」、2008 年 10 月 31-11 月 1 日、中国・東北師範大学

21 藏中しのぶ、イメージで見る奈良・平安朝の文化、国際ワークショップ「イメージで見る日本文化」、2008 年 9 月 24 日、イタリア国立サレント大学

22 藏中しのぶ、上代における初唐文化の受容 「新羅学生審祥経典目録」と大安寺文化圏、水門の会、2008 年 9 月 11 日、神戸・ユニバープラザ UNITY

〔図書〕(計7件)

藏中しのぶ,他、大東文化大学東洋研究所、
『藝文類聚(巻八十四)訓読付索引』、2011、
1-66

藏中しのぶ,他、大東文化大学東洋研究所、
茶譜巻三注釈、2011、1-186

藏中しのぶ,他、大東文化大学東洋研究所、
藝文類聚(巻八十三)訓読付索引、2010、
1-63

藏中しのぶ,他、大東文化大学東洋研究所、
茶譜巻二注釈、2010、1-204

藏中しのぶ(分筆担当)、吉川弘文館「スタ
ッタ長者の面影 『藤氏家伝』から『延暦
僧録』「居士伝」へ」、篠川賢編、増尾伸
一郎編『藤氏家伝を読む』2010、1-90

藏中しのぶ,他、大東文化大学東洋研究所、
藝文類聚(巻八十二)訓読付索引、2009、
1-106

藏中しのぶ,他、大東文化大学東洋研究所、
茶譜巻一注釈、2009、1-230

6. 研究組織

(1)研究代表者

藏中しのぶ (KURANAKA SHINOBU)
大東文化大学・外国語学部・教授
研究者番号：40215041

(2)研究分担者 なし

(3)連携研究者 なし

(4)研究協力者

マリア・キアラ・ミリオール
(Maria Chiara Migliole)
イタリア・国立サレント大学・教授

トウンマン武井典子
(Noriko Takei Thunman)
スウェーデン・ヨーデボレ大学・教授

シャルロット・フォン・ヴェアシュア
(Charlotte Von VERSCHUER)
フランス国立高等学院・教授

ローリ・ミークス
(Lori Meeks)
アメリカ・南カリフォルニア大学・教授

ケビン・ウイルソン
(Kevin Wilson)
アメリカ・南カリフォルニア大学大学院学
生

邱雅芬
(Qiu Yafen)
中国・中山大学・教授

李俄憲

(Li Exian)
中国・華中師範大学・教授